



月刊えるるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。
これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ 「倉永カフェ笑(ショウ)」さん

認知症カフェ「倉永カフェ笑(ショウ)」の代表・植里さんと吉野地区地域包括支援センターの工藤さんに活動内容をお聞きしてきました。



「倉永カフェ笑(ショウ)」とは

大牟田市倉永を拠点とする※認知症カフェです。最近少し「物忘れがある」とお感じの認知症予備軍の方、そのご家族、地域住民など、誰もが気軽に参加し情報交換や相談、交流を図り、認知症についての理解を深めるための啓発の推進を行っています。また、支援体制のネットワークを構築し、市民の皆さんが、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるように支援体制の充実を目指しています。

普段の活動について

毎月第3木曜日、倉永コミュニティーセンターでお茶やコーヒーを飲みながら交流できる、カフェ（参加費200円）を開催しています。毎回20名前後の方に参加をして頂き、活動は参加者の皆さんのご希望を聞きながら検討し、話し合いで決めています。

内容としては、ケアビクス体操や脳トレ、レクリエーション・各ボランティアの方による歌などの催し物、季節行事を取り入れた活動などを行っています。10月は参加者の皆さんとお月見をテーマにした手芸をしました。12月は民生委員さんからおにぎりとお汁を作ってください、食事もしました。毎回楽しいおしゃべりをしながら、カフェの時間を過ごしていただいています。

勉強会について

地域の介護施設事業所をお借りして、認知症の勉強会なども開催しています。前回は地域の方80名ほどが勉強会に来ていただきました。「認知症」という言葉だけだと「難しい」イメージがあるようでしたが、「認知症について知れてよかった」「とてもわかりやすかった」と多くの感想をいただき、たくさんの方に私たちの活動を知っていただく場にもなったと思っています。



9月の勉強会の様子

12月のカフェの様子



倉永六交読み
永年流し
小生間の
五と様
のせ。



みんなで来年の干支の猪の飾りを作りました。



今後の活動について

参加者の皆さんが元気に楽しく過ごされることが一番ですね。理想は毎回参加いただくことで、顔見知りになり、「最近ちょっと物忘れがひどくなっただんじゃない?」と体調の変化など参加者さん同士で気づきあったり、一緒に運営のお手伝いなどもしていただけたらと考えています。

その為には「活動を継続していくこと」が、少しでも理想に近づくのではと思います。毎回の参加は難しい方もいらっしゃると思いますが、地域の皆さんが倉永カフェに来て「楽しかった」と少しでも感じて頂ければ、息の長い活動になっていくのではと思います。

おおむた認知症カフェフェスタについて

1月26日12時よりゆめタウン大牟田にて開催されます。認知症に関する講話や寸劇、また体験コーナーや相談コーナーもあります。申込不要のイベントになっていますので認知症カフェに興味をもたれた方はぜひお越しください。

問合せ先 倉永カフェ笑(ショウ) については吉野地区地域包括支援センター (41-6025) を通してお問い合わせください